文化表現学科・地域保育学科
図書館司書課程

2022年4月1日 更新

科目名	生涯学習概論		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	いとう あきよし 伊藤 明芳
ナンバリングコード	LIS3222		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	○対面○・遠隔・その他( )							
授業の内容	大きく変動する社会の中で、特に現代は「生涯学習」が必要になってきたと言われている。本講義では、生涯学習についての基本的な意味、社会的背景、歴史、必要性、さまざま考え方を学ぶ。さらに、図書館をはじめ、生涯学習の担い手となる機関等への理解を深める。							
到達目標	1. 生涯学習に意味、理念を理解している。 2. 各発達段階における対象者の生涯学習計画を提案できる。 3. 図書館司書等、生涯学習の担い手としての機関等の役割や活動を理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科( ) 地域保育学科( ) 文化表現学科(2,3,4)							
授業計画	第1回	内容	イントロダクション	予習	シラバスを読んでおく。			
				復習	本講義の概要を理解する。			
	第2回	内容	生涯学習とは何か(意味、社会的背景)	予習	生涯学習の定義を調べる。			
				復習	学んだことを整理し、理解する。			
	第3回	内容	地域の間からの学習	予習	地域での学びについて調べる。			
				復習	学んだことを整理し、理解する。			
	第4回	内容	地域の人々の相互学習	予習	相互学習の具体的な形態について調べる。			
				復習	学んだことを整理し、理解する。			
	第5回	内容	生涯学習の方法	予習	どのような方法があるか調べる。			
				復習	学んだことを整理し、理解する。			
	第6回	内容	生涯学習と図書館	予習	図書館の機能について調べる。			
				復習	学んだことを整理し、理解する。			
	第7回	内容	人の心の生涯発達	予習	生涯に渡る心の変化について調べる。			
				復習	学んだことを整理し、理解する。			
	第8回	内容	老年期の発達の課題	予習	どのような発達課題があるか調べる。			
				復習	学んだことを整理し、理解する。			
第9回	内容	生涯学習プラン	予習	プラン作成について調べる。				
			復習	学んだことを整理し、理解する。				
第10回	内容	(実地)生涯学習機関での学習①	予習	当該機関について事前に調べる。				
			復習	実際に学んだこと等を整理する。				
第11回	内容	(実地)生涯学習機関での学習②	予習	当該機関について事前に調べる。				
			復習	実際に学んだこと等を整理する。				
第12回	内容	(実地)生涯学習機関での学習③	予習	当該機関について事前に調べる。				
			復習	実際に学んだこと等を整理する。				
第13回	内容	発表会準備(学びとプランの作成)	予習	発表内容を考える。				
			復習	発表原稿を作成する。				
第14回	内容	発表会	予習	発表リハーサルをおこなう。				
			復習	発表リハーサルをおこなう。				
第15回	内容	まとめと今後へのアドバイス	予習	講義全過程の学びを整理する。				
			復習	丁寧に復習をする。				
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
課題へのフィードバック	発表会やレポートの講評をおこなう。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施(○)しない 成績評価の方法：レポート・課題(30%)、作品・発表(30%)、実技(40%)							
教科書	特に指定しない。							
参考文献	必要に応じて授業内で紹介する。							
注意事項								

科目名	図書館概論		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	のなか ひろふみ 野中 博史
ナバリンクコード	LIS3211		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（課題提出の場合など、適宜遠隔授業を取り入れることがあります。）							
授業の内容	図書館司書として不可欠の図書館に関する知識の修得及び図書館に関する課題を発見する力並びにその課題を解決する力を育む授業です。自ら積極的に調査するアクティブラーニングの要素を取り入れ、評価します。							
到達目標	1. 図書館司書としての知識を育むことができる。 2. 図書館の機能と意義についての知識を育むことができる 3. 図書館の諸問題について考察することができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 2, 3, 4 ）							
授業計画	第1回	内容	15回にわたる授業の内容と授業方法、予習・復習の方法、授業の仕方について説明。	予習	特に必要ありません。			
				復習	授業内容について確認してください。			
	第2回	内容	図書館の定義と歴史	予習	図書館の歴史について教材を見ておくこと。			
				復習	図書館の意義と役割について確認すること。			
	第3回	内容	近代公共図書館の理念	予習	民主主義について学んでおくこと。			
				復習	民主主義と公共図書館の意義についての確認。			
	第4回	内容	図書館の自由	予習	民主主義の意義について考えておくこと。			
				復習	民主主義の意義と図書館の自由との関係について確認すること。			
	第5回	内容	図書館の自由と表現の自由	予習	表現の自由について学んでおくこと。			
				復習	表現の自由と図書館の関係について確認すること。			
	第6回	内容	日本国憲法と図書館関連法規	予習	日本国憲法21条、同26条を読んでおくこと。			
				復習	図書館関連法規と日本国憲法との関連を把握する。			
	第7回	内容	図書館法関連法規	予習	図書館法を調べておくこと。			
				復習	図書館法の精神を理解すること。			
	第8回	内容	図書館法と行政	予習	図書館法と自治体の役割について調べておくこと。			
				復習	図書館法と自治体の役割について確認すること。			
第9回	内容	国立国会図書館法	予習	国立国会図書館法を読んでおくこと。				
			復習	国立国会図書館の役割について確認すること。				
第10回	内容	学校図書館法	予習	学校図書館法について調べておくこと。				
			復習	学校図書館の役割について確認すること。				
第11回	内容	著作権法と図書館	予習	著作権法について調べておくこと。				
			復習	著作権法の具体的中身を確認すること。				
第12回	内容	文字・活字文化振興法	予習	文字・活字文化振興法について調べておくこと。				
			復習	文字・活字文化振興法と図書館の関係について確認すること。				
第13回	内容	大学図書館・専門図書館	予習	大学図書館・専門図書館の機能について調べる。				
			復習	大学図書館・専門図書館の機能を確認すること。				
第14回	内容	図書館をめぐる最近の動向と課題	予習	新聞等で図書館を巡るニュースを読んでおくこと。				
			復習	図書館のニュースと図書案の理念を考察すること。				
第15回	内容	これまでの授業の考察	予習	授業を通じて学んだことを確認すること。				
			復習	学習内容について再確認し、考えること。				
予習に要する学習時間：概ね 50 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 130 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	適宜課題を提出しフィードバックします。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（70%）、レポート・課題（20%）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度【予習復習状況等】（10%）							
教科書	『書名』（著者名、出版社名） 特に指定しません。							
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 『図書館概論』（日本図書館協会）を推奨します。							
注意事項	教材・参考文献は1週間前に配布しますので予習しておいてください。15回の授業の中で適宜、オンデマンド方式のオンライン授業を実施します。課題は調査（アクティブラーニング）事項などについて提出します。							

科目名	図書館制度・経営論		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	つちや みゆう 土屋 深優
ナバリンクコード	LIS3224	授業形態	講義	実務経験				
授業方式	○対面○・遠隔・その他( )							
授業の内容	図書館及び関連領域に関する法律、制度、政策、図書館経営の実態について解説を行います。また、図書館と他の公的機関の連携、図書館の施設と設備、図書館サービスの計画と予算、今後の図書館経営のあり方についてグループワーク・討議を行い、各自の考察を深めます。							
到達目標	1. 図書館関連法規、図書館経営に関する制度について理解できる 2. 図書館経営に必要な組織運用、計画の作成と評価、図書館経営の今後の発展について理解できる 3. 図書館経営の意義、ならびに職員の職務、他機関との連携について説明できる							
学位授与方針	幼児教育学科( ) 地域保育学科( ) 文化表現学科(2. 3. 4)							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション 図書館経営の理念	予習	シラバスの内容をよく読んでおく			
				復習	本授業の内容を理解する			
	第2回	内容	図書館法と図書館経営制度	予習	図書館法を予読する			
				復習	図書館法の内容について理解する			
	第3回	内容	図書館法以外の図書館関連法規と条例	予習	図書館の設置および運営上の望ましい基準を予読する			
				復習	図書館法以外の関連法規の内容を理解する			
	第4回	内容	子どもの読書関連法規	予習	子どもの読書活動推進に関する法律を予読する			
				復習	子どもの読書活動推進について理解する			
	第5回	内容	図書館サービス関連法規	予習	著作権、個人情報保護に関する法律を予読する			
				復習	図書館サービス関連法規について理解する			
	第6回	内容	図書館関連政策(国・地方)	予習	埼玉県図書館政策に目を通す			
				復習	図書館関連政策について理解する			
	第7回	内容	パブリックガバナンスと図書館(グループワーク・討議)	予習	図書館以外の公共施設について調べる			
				復習	公共施設と図書館経営についてレポートを書く			
	第8回	内容	図書館及び図書館関連組織・職員	予習	図書館で働く人々について調べる			
				復習	図書館及び図書館関連組織・職員について理解する			
	第9回	内容	図書館司書の専門性とボランティア	予習	文科省の司書についてのサイトを読んでおく			
				復習	図書館司書の専門性について理解する			
	第10回	内容	図書館の施設と設備(グループワーク・討議)	予習	埼玉県立図書館の館内図に目を通す			
				復習	図書館施設と設備についてレポートを書く			
	第11回	内容	図書館サービスの計画と予算(グループワーク・討議)	予習	日本の図書館統計に目を通す			
				復習	図書館サービス計画についてレポートを書く			
	第12回	内容	図書館サービスの計画と評価	予習	埼玉県立図書館の図書館サービス計画を読む			
				復習	図書館サービスの計画と評価について理解する			
	第13回	内容	図書館経営の多様化	予習	指定管理者制度について調べる			
				復習	多様な図書館経営について理解する			
	第14回	内容	図書館における危機管理	予習	図書館における災害対策について調べる			
				復習	図書館における危機管理について理解する			
	第15回	内容	図書館経営の課題と展望(グループワーク・討議)	予習	新聞・インターネットで図書館に関するニュースを読んでおく			
				復習	図書館経営の課題についてレポートを書く			
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
課題へのフィードバック	課題に対してコメントを返却します。また、グループワーク時にも適宜コメントをします。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施( )する/ (○)しない 成績評価の方法：筆記試験( )%、レポート・課題(60%)、作品・発表(20%)、実技( )%、授業態度【討議での積極性】(20%)							
教科書	指定しません。授業毎に授業資料を配布します。							
参考文献	『現代図書館情報学シリーズ2 図書館制度・経営論』(糸賀雅児・葉袋秀樹編、樹村房、2013) 『ベーシック司書講座・図書館の基礎と展望5 図書館制度・経営論 第2版』(手嶋孝典編著、学文社、2017)							
注意事項	グループワークを行わない授業では、授業内で小テストを行います。小テストの内容を復習してください。							

科目名	図書館情報技術論		単位数	2	授業時間数	30	担当教員 こやま もりえ 小山 守恵
ナンバリングコード	LIS3225		授業形態	講義	実務経験		
授業方式	○対面○・遠隔・その他( )						
授業の内容	図書館業務に必要な基礎的な情報技術に関する知識を習得することを目的とする。 図書館業務システム、コンピュータの基礎、データベース、検索エンジン、電子資料など、図書館業務とサービスにおける情報技術やインターネットの活用について解説する。						
到達目標	1. 図書館で活用する情報技術について理解している 2. 印刷資料からデジタルコンテンツの管理にかかわるシステムについて理解している						
学位授与方針	幼児教育学科( ) 地域保育学科(文3に相当) 文化表現学科(3)						
授業計画	第1回	内容	ガイダンス 図書館情報技術の全体像	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する		
	第2回	内容	コンピュータとネットワークの基礎	予習	コンピュータの仕組みを調べる		
				復習	コンピュータとネットワークを理解する		
	第3回	内容	情報技術と社会	予習	情報技術の社会の関りを調べる		
				復習	情報技術と社会の関りをまとめる		
	第4回	内容	図書館における情報技術の現状	予習	図書館で使われている情報技術を調べる		
				復習	図書館業務に必要な情報技術を理解する		
	第5回	内容	データベースの仕組み	予習	人とデータベースの関りを調べる		
				復習	図書館のデータベースの仕組みを理解する		
	第6回	内容	メタデータの基本概念	予習	書誌情報の構成を整理しておく		
				復習	図書館とメタデータの関りを理解する		
	第7回	内容	情報システムの管理	予習	自分のセキュリティ管理について考える		
				復習	セキュリティの課題についてまとめる		
	第8回	内容	図書館業務システムの仕組み	予習	図書館業務を整理しておく		
				復習	図書館の管理システムの課題を整理する		
第9回	内容	電子資料	予習	身近にある電子書籍を調べる			
			復習	電子資料と紙の資料の特性を整理する			
第10回	内容	デジタルアーカイブ	予習	電子資料とは何か整理しておく			
			復習	デジタルアーカイブの必要性をまとめる			
第11回	内容	検索システムのしくみ	予習	自分が行う情報検索方法を考える			
			復習	各種検索システムを整理する			
第12回	内容	図書館と著作権	予習	身の回りの著作権について考える			
			復習	図書館と著作権の関係を整理する			
第13回	内容	これからの図書館	予習	学外の図書館を技術の視点で見学しておく			
			復習	情報技術と機能について整理する			
第14回	内容	講義復習 演習課題	予習	図書館の情報技術の在り方を整理しておく			
			復習	図書館で必要な情報技術の問題をまとめる			
第15回	内容	図書館委託業務、まとめ	予習	図書館委託業務について考える			
			復習	図書館の情報技術について振り返りまとめる			
	予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。						
課題へのフィードバック	各回の課題に対して解説を行う。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施( )する/( )しない 成績評価の方法：筆記試験(%)、レポート・課題(90%)、作品・発表(%)、実技(%)、授業態度【積極性】(10%)						
教科書	『改訂 図書館と情報技術：情報検索能力の向上をもめざして』(田窪直規 編、樹村房)						
参考文献	授業時に提示する						
注意事項	理解確認のための課題を提示する						

科目名	図書館サービス概論		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	のなか ひろふみ 野中 博史
ナバリンクコード	LIS3212		授業形態	講義	実務経験	有		
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	図書館司書として不可欠の図書館サービスに関する知識を修得し、図書館サービスに関する課題を発見する力並びにその課題を解決する力を育む授業とする。授業は自主的・主体的に調査学習 ブアクティブラーニングの要素 を取り入れていく。							
到達目標	1. 図書館サービスの機能と内容について説明できる。 2. 各種図書館サービスの実践ができる。 3. 図書館資料の排架ができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 3・4 ）							
授業計画	第1回	内容	15回にわたる授業の内容と授業方法、予習・復習の方法、授業の仕方について説明	予習	情報サービスとは何かについて調べておくこと。	復習	授業説明を確認すること。	
	第2回	内容	図書館の機能とサービス	予習	図書館の機能とサービスについて調べておくこと。	復習	図書館機能とサービスについて確認すること。	
	第3回	内容	図書館のテクニカルサービス	予習	図書館のテクニカルサービスについて調べておくこと。	復習	図書館のテクニカルサービスの実態を確認すること。	
	第4回	内容	図書館サービスの役割と内容	予習	図書館サービスの役割と内容について調べておくこと。	復習	図書館サービスの役割と内容について確認すること。	
	第5回	内容	図書館の業務分析	予習	図書館の業務を具体的に調べておくこと。	復習	図書館の業務分析の仕方を確認すること。	
	第6回	内容	図書館サービスの基準	予習	図書館サービスの基準を調べておくこと。	復習	図書館サービスの基準について確認すること。	
	第7回	内容	図書館サービスとマネジメント	予習	図書館のマネジメントとは何かについて調べておくこと。	復習	図書館のマネジメントについて確認すること。	
	第8回	内容	振り返りと調査	予習	これまでに学習したことや問題点を確認しておくこと。	復習	問題点を整理すること。	
	第9回	内容	来館者へのサービス	予習	来館者へのサービスの中身を調べておくこと。	復習	来館者へのサービスの中身を確認すること。	
	第10回	内容	レファレンスサービスと問題点	予習	レファレンスサービスについて調べておくこと。	復習	レファレンスサービスの仕方を確認すること。	
	第11回	内容	図書館サービスの現状	予習	図書館サービスの種類について調べておくこと。	復習	図書館サービスの具体的な中身を確認すること。	
	第12回	内容	図書館御貸出し構造・複写サービス	予習	貸出サービスの要件などについて調べておくこと。	復習	貸し出しサービスの要件を具体的に確認すること。	
	第13回	内容	問題解決型サービス	予習	問題解決型サービスについて調べておくこと。	復習	問題解決型サービスについて具体的に考えること。	
	第14回	内容	来館者への対応	予習	来館者にどう対応するか考えておくこと。	復習	具体的な対応を確認すること。	
	第15回	内容	振り返りと考察	予習	とくに図書館の向と課題について確認しておくこと。	復習	テストに備え全体を確認すること。	
	予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。復習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。							
課題へのフィードバック	適宜、学習成果に関して確認の時間（課題と添削）を取る。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（70%）、レポート・課題（20%）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度【課題提出・予習状況等】（10%）							
教科書	『書名』（著者名、出版社名）に指定せず。教材を配布します。							
参考文献	『書名』（著者名、出版社名）『図書館サービス概論』（日本図書館協会）等日本図書館協会発刊の各図書、							

注意事項

教材・参考文献は1週間前に配布しますので予習しておいてください。15回の授業の中で適宜、オンデマンド方式のオンライン授業を実施します。課題は調査（アクティブラーニング）事項などについて提出します。

科目名	情報サービス論		単位数	2	授業時間数	30	担当教員 のなか ひろふみ 野中 博史
ナンバリングコード	LIS3225		授業形態	講義	実務経験	有	
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	図書館司書として不可欠の図書館の情報サービスに関する知識の修得及び情報サービスに関する課題を発見する力並びにその課題を解決する力を育む授業です。自主的に調査するアクティブラーニングを含みます。						
到達目標	1. 図書館情報サービスについての知識と技能を理解している 2. レファレンスサービスの実践ができる 3. 情報検索サービスの実践ができる						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（2・3・4）						
授業計画	第1回	内容	授業の内容と授業方法、予習・復習の方法、授業の仕方について説明	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	この科目で修得すべき内容を理解する。		
	第2回	内容	情報格差と情報サービス	予習	情報格差とは何かについて調べておくこと。		
				復習	図書館の情報サービスの意義について確認すること。		
	第3回	内容	情報検索	予習	情報検索の意義について調べておくこと。		
				復習	情報検索の狙いを確認すること。		
	第4回	内容	情報源の整備	予習	図書館の情報源について調べておくこと。		
				復習	情報源の整備と図書館の役割について確認すること。		
	第5回	内容	レファレンスの意義	予習	レファレンスの内容について調べておくこと。		
				復習	レファレンスの内容と意義について確認すること。		
	第6回	内容	図書館の各種情報サービス	予習	図書館の情報サービスについて調べておくこと。		
				復習	具体的な情報サービスとその意義について確認すること。		
	第7回	内容	図書館情報サービスの望ましい基準	予習	図書館サービスの内容について調べておくこと。		
				復習	図書館サービスの基準について確認すること。		
	第8回	内容	地域課題支援サービス	予習	地域課題について調べておくこと。		
				復習	地域課題に応える図書館の役割を確認すること。		
第9回	内容	公共図書館のデジタル化	予習	図書館のデジタル資料について調べておくこと。			
			復習	デジタル資料の内容について確認すること。			
第10回	内容	レファレンス情報源	予習	レファレンス情報源について調べておくこと。			
			復習	レファレンス情報源の種類について確認すること。			
第11回	内容	情報探索と流れ	予習	情報探索の内容について調べておくこと。			
			復習	情報探索の方法について確認すること。			
第12回	内容	新聞記事の探索	予習	新聞記事の探索の目的について調べておくこと。			
			復習	記事探索の方法について確認すること。			
第13回	内容	事実の情報探索	予習	事実の探索に使われる情報源を調べておくこと。			
			復習	事実の探索に使われる情報源の内容と特徴を確認すること。			
第14回	内容	キーワード検索と論理計算	予習	論理計算について調べておくこと。			
			復習	論理計算ができるように覚えこむこと。			
第15回	内容	全体の振り返りと考察	予習	学習内容の疑問点などを整理すること。			
			復習	疑問点についての答えを確認すること。			
予習に要する学習時間：概ね 60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120分を目安とする。							
課題へのフィードバック	適時、課題を提出し採点のうえフィードバックします。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（70%）、レポート・課題（20%）、作品・発表（%）、実技（%）、授業態度【課題提出等】（10%）						
教科書	『書名』（著者名、出版社名）とくに指定しません。						
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 『情報サービス論』（日本図書館協会）						
注意事項	教材や参考資料は1週間前に配布します。よく読んで予習しておいてください。また、適宜課題提出の場合などにオンデマンド方式の遠隔授業を取り入れます。課題は調査（アクティブラーニング）事項などについて提出します。						

科目名	児童サービス論		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	つちや みゆう 土屋 深優
ナバリングコード	LIS3221		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	乳児からヤングアダルトまでを対象とした、資料の管理と提供、子どもの読書を推進する取り組み、他機関との連携等について、基本知識と技術の習得を目指します。児童サービスの内、読み聞かせ、ブックトーク、ストーリーテリングについては演習形式で理解を深めます。							
到達目標	1. 図書館における児童サービスの意義と取り組みについて理解できる 2. 児童向け資料の基礎知識を理解し、収集と提供について説明できる 3. 子どもの読書を推進する取り組みを理解し、実践できる							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（1. 2. 3. 4. 5） 文化表現学科（1. 2. 3. 4）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション		予習	シラバスの内容をよく読んでおく		
			児童にとっての読書の意味		復習	本授業の内容を理解する		
	第2回	内容	児童サービスの意義と歴史		予習	児童サービスの意義について調べる		
					復習	児童サービスの意義と歴史について理解する		
	第3回	内容	児童向け資料の種類と提供		予習	児童向け資料の種類を調べてまとめる		
					復習	児童向け資料の種類と提供について理解する		
	第4回	内容	児童サービスの管理と運営		予習	児童図書室・児童図書館について調べる		
					復習	児童サービスの計画・実施・評価について理解する		
	第5回	内容	おはなし会の意義と役割		予習	おはなし会で行われる取り組みについて調べる		
					復習	おはなし会の意義と役割を理解する		
	第6回	内容	読み聞かせの意義と準備		予習	読み聞かせの意義について調べる		
					復習	読み聞かせの準備について理解する		
	第7回	内容	読み聞かせ演習（発表）		予習	読み聞かせの資料を選び、練習しておく		
					復習	自身の読み聞かせの感想と相互評価をレポートにまとめる		
	第8回	内容	ブックトークの意義と準備		予習	ブックトークの意義について調べる		
					復習	授業の内容を踏まえてブックトークのシナリオを作成する		
	第9回	内容	ブックトーク演習（発表）		予習	ブックトークの演出を考え、練習しておく		
					復習	自身のブックトークの感想と相互評価をレポートにまとめる		
	第10回	内容	ストーリーテリングの意義と準備		予習	ストーリーテリングの意義について調べる		
					復習	ストーリーテリングの準備について理解する		
	第11回	内容	ストーリーテリング演習（発表）		予習	ストーリーテリングの作品を選定し、練習する		
					復習	自身のストーリーテリングの感想と相互評価をレポートにまとめる		
	第12回	内容	乳幼児サービスと子育て支援		予習	ブックスタートについて調べる		
					復習	乳幼児サービスと子育て支援について理解する		
	第13回	内容	ヤングアダルト（YA）サービスの歴史、意義、取り組み		予習	YA サービスとは何か調べる		
					復習	YA サービスの意義と取り組みについて理解する		
	第14回	内容	学校図書館へのサービス		予習	学校図書館と公共図書館の連携について調べる		
					復習	学校図書館へのサービスの現状と課題を理解する		
	第15回	内容	児童サービスの課題と展望		予習	児童サービスの課題について調べる		
					復習	児童サービスの展望について理解する		
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
課題へのフィードバック	課題に対してコメントを返却します。また、発表時にも適宜コメントをします。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ %）、レポート・課題（50%）、作品・発表（50%）、実技（ %）、授業態度【 】（ %）							
教科書	指定しません。授業毎に授業資料を配布します。							
参考文献	『現代図書館情報学シリーズ6 児童サービス論』（植松貞夫編、樹村房、2012） 『ベーシック司書講座・図書館の基礎と展望7 児童サービス論』（望月道浩・平井歩実編、学文社、2015）							
注意事項	発表を行わない授業では、授業内で小テストを行います。小テストの内容を復習してください。							

科目名	情報サービス演習		単位数	2	授業時間数	60	担当教員	こやま もりえ 小山 守恵
ナンバリングコード	LIS3231		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他( )							
授業の内容	図書館が扱う情報資源の特性を把握し、利用者に適切な回答を提供するための基礎知識と技術を習得することを目的とする。情報入手のための情報源や情報サービスの設計、ファレンスコレクションの構築、発信型情報サービスなど、利用者の要求に対する回答処理の実践的な技術を学ぶ。							
到達目標	1. レファレンス担当としての自覚を持ち、信頼性の高い情報サービスの提案ができる 2. 各種レファレンスツール(参考資料、インターネット情報源等)の特性を理解して、利活用できる 3. 最終的に、自分の力でレファレンス回答にたどり着ける力を身につけている							
学位授与方針	幼児教育学科( )地域保育学科(文2, 3, 4に相当)文化表現学科(2, 3, 4)							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス レファレンス能力の確認	予習	シラバスを読んでおく	復習	この科目で習得すべき内容を理解する	
	第2回	内容	情報サービスの意義と設計	予習	教科書を読んでおく	復習	情報サービスの意義を整理する	
	第3回	内容	情報サービスの評価 ①情報資源とレファレンスコレクション	予習	教科書を読んでおく	復習	図書館資料を理解する	
	第4回	内容	情報サービスの評価 ②情報資源とレファレンスコレクションの実際(図書館内での演習)	予習	本校の情報資源を調べる	復習	レファレンスコレクションの特性を理解する	
	第5回	内容	情報サービスの評価 ③情報資源とレファレンスコレクションの実際(図書館内での演習)	予習	本校の情報資源を調べる	復習	レファレンスコレクションの特性を理解する	
	第6回	内容	情報探査行動	予習	教科書を読んでおく	復習	利用者の段差行動を理解する	
	第7回	内容	情報サービスの基礎 ①情報資源の検索	予習	テーマを整理しておく	復習	情報資源の検索の方法を理解する	
	第8回	内容	情報サービスの基礎 ②情報資源、Web ページ、Web サイトの検索	予習	テーマを整理しておく	復習	デジタル情報資源の検索方法を理解する	
	第9回	内容	情報サービスの基礎 ③図書情報の検索	予習	テーマを整理しておく	復習	図書情報の検索方法を理解する	
	第10回	内容	情報サービスの基礎 ④雑誌・雑誌記事の検索	予習	テーマを整理しておく	復習	雑誌・雑誌記事の検索方法を理解する	
	第11回	内容	情報サービスの基礎 ⑤新聞記事、言葉・事柄・統計の検索	予習	テーマを整理しておく	復習	新聞記事、言葉等の検索方法を理解する	
	第12回	内容	情報サービスの基礎 ⑥歴史・日時・地理・地名・地図の検索	予習	テーマを整理しておく	復習	歴史、地理等の検索方法を理解する	
	第13回	内容	情報サービスの基礎 ⑦人物・企業・団体、法律・判例・特許の検索	予習	テーマを整理しておく	復習	人物、法律、特許等の検索方法を理解する	
	第14回	内容	情報サービスの基礎 ⑧印刷資料の実際(図書館内での演習)	予習	第7-13の目的別検索方法を理解しておく	復習	印刷資料での検索を理解する	
	第15回	内容	情報サービスの基礎 ⑨印刷資料の実際(図書館内での演習)	予習	第7-13の目的別検索方法を理解しておく	復習	印刷資料での検索を理解する	
	第16回	内容	情報サービスの演習①(個別練習問題の実施と解説)(図書館内とPCルームでの演習)	予習	第3-15を理解しておく	復習	各種問題の検索方法を理解する	
	第17回	内容	情報サービスの演習②(個別練習問題の実施と解説)(図書館内とPCルームでの演習)	予習	第3-15を理解しておく	復習	各種問題の検索方法を理解する	
	第18回	内容	情報サービスの演習③(個別練習問題の実施と解説)(図書館内とPCルームでの演習)	予習	第3-15を理解しておく	復習	各種問題の検索方法を理解する	
	第19回	内容	情報サービスの演習④(個別練習問題の実施と解説)(図書館内とPCルームでの演習)	予習	第3-15を理解しておく	復習	各種問題の検索方法を理解する	
	第20回	内容	情報サービスの演習⑤(個別練習問題の実施と解説)(図書館内とPCルームでの演習)	予習	第3-15を理解しておく	復習	各種問題の検索方法を理解する	
		内容		予習	第3-15を理解しておく			

	第 21 回		情報サービスの演習⑥（個別練習問題の実施と解説）（図書館内と PC ルームでの現場研修	復習	各種問題の検索方法を理解する
	第 22 回	内容	情報サービスの演習⑦（個別練習問題の実施と解説）（図書館内と PC ルームでの演習）	予習	第 3-15 を理解しておく
				復習	各種問題の検索方法を理解する
	第 23 回	内容	情報サービスの演習⑧（個別練習問題の実施と解説）（図書館内と PC ルームでの演習）	予習	第 3-15 を理解しておく
				復習	各種問題の検索方法を理解する
	第 24 回	内容	情報サービスの演習⑨（個別練習問題の実施と解説）（図書館内と PC ルームでの演習）	予習	第 3-15 を理解しておく
				復習	各種問題の検索方法を理解する
	第 25 回	内容	情報サービスの演習⑩（個別練習問題の実施と解説）（図書館内と PC ルームでの演習	予習	第 3-15 を理解しておく
				復習	各種問題の検索方法を理解する
	第 26 回	内容	発信型情報サービス①インフォメーションファイル（資料収集）	予習	情報サービスについて考える
				復習	インフォメーションファイルの特性を理解する
	第 27 回	内容	発信型情報サービス②インフォメーションファイル（作成）	予習	情報サービスについて考える
				復習	インフォメーションファイルの特性を理解する
	第 28 回	内容	発信型情報サービス③パスファインダー（資料収集）	予習	情報サービスについて考える
				復習	パスファインダーの特性を理解する
	第 29 回	内容	発信型情報サービス④パスファインダー（作成）	予習	情報サービスについて考える
				復習	パスファインダーの特性を理解する
	第 30 回	内容	情報サービスの評価 まとめ	予習	情報資源とサービス技術を振り返る
				復習	サービスの評価と改善点を提案できる
	予習に要する学習時間：概ね 15 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。				
課題へのフィードバック	演習時に個々の課題を解説する				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（ 90 %）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度【積極参加】（10 %）				
教科書	『書名』（著者名、出版社名） 『現代図書館情報学シリーズ 7：改訂 情報サービス演習』（原田智子、樹村房）				
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 授業時に指示する				
注意事項	1. 授業は本学図書館所蔵のレファレンスブックと PC と使用して行う。 2. レファレンスの解説と演習を行い、演習問題の記録をレポートとして作成する。演習では、質問に対する直接的な回答そのものを求めるのではなく、その回答に至るまでの調査過程、使用したレファレンスツールの特徴や内容構成などの理解を重視する。 3. 全体の流れにより多少の変更がある。				

科目名	図書館情報資源概論		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	つちや みゆう 土屋 深優
ナンバリングコード	LIS3226		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	図書館情報資源である印刷資料、非印刷資料、デジタル情報資源等について説明します。これらの情報資源について、歴史、特徴、生産、流通、収集整理及び収集整理に係る業務、コレクション形成方法等、図書館業務に必要な基礎知識を学びます。特に実際の図書館業務に関わる内容はグループワークを通して理解を深めます。							
到達目標	1. 印刷資料、非印刷資料、デジタル情報資源等の特徴と管理について理解できる 2. 図書館情報資源に関する図書館業務について説明できる 3. 図書館情報資源の現状、課題、展望について理解できる							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（1. 2. 3. 4）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション 図書館情報資源とは何か	予習	シラバスの内容をよく読んでおく			
				復習	本授業の内容を理解する			
	第2回	内容	印刷資料の歴史と特徴	予習	印刷資料にどのようなものがあるか調べる			
				復習	印刷資料の特徴について理解する			
	第3回	内容	非印刷資料の類型と特徴	予習	非印刷資料にどのようなものがあるか調べる			
				復習	非印刷資料の特徴について理解する			
	第4回	内容	デジタル情報資源	予習	NDLのデジタルコレクションにアクセスし、興味のある資料を利用する			
				復習	デジタル情報資源について理解する			
	第5回	内容	地域と行政の情報資源	予習	地域資料・行政資料にどのようなものがあるか調べる			
				復習	地域資料・行政資料について確認する			
	第6回	内容	学術研究のための情報資源①（人文・社会学分野）	予習	自身が普段利用する情報資源をまとめる			
				復習	人文・社会学分野の情報資源について確認する			
	第7回	内容	学術研究のための情報資源②（科学・技術分野）	予習	自身が普段利用する情報資源をまとめる			
				復習	科学・技術分野の情報資源について確認する			
	第8回	内容	障害者サービス・高齢者サービスのための情報資源	予習	障害者・高齢者サービスのための資料について調べる			
				復習	障害者・高齢者サービスのための情報資源について確認する			
第9回	内容	情報資源の出版と流通（グループワーク・討議）	予習	書籍の出版・流通の流れについて調べる				
			復習	情報資源の出版流通についてレポートを書く				
第10回	内容	図書館業務と情報資源（グループワーク）	予習	レファレンス資料について調べる				
			復習	図書館業務に関係する資料について理解する				
第11回	内容	コレクション形成の理論	予習	図書館コレクションの意義について調べる				
			復習	コレクション形成の理論について理解する				
第12回	内容	コレクション形成の方法と選書（グループワーク・討議）	予習	埼玉県立図書館の選書方針を読む				
			復習	コレクション形成についてレポートを書く				
第13回	内容	図書館情報資源の管理	予習	図書館資料の受入れ・除籍について調べる				
			復習	図書館情報資源の管理について理解する				
第14回	内容	電子書籍・電子ジャーナルと図書館（グループワーク・討議）	予習	電子書籍の図書館における貸出状況を調べる				
			復習	電子書籍についてレポートを書く				
第15回	内容	図書館情報資源の今後の展望（グループワーク）	予習	インターネットアーカイブについて調べる				
			復習	図書館情報資源の今後についてレポートを書く				
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
課題へのフィードバック	課題に対してコメントを返却します。また、グループワーク時にも適宜コメントをします。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ %）、レポート・課題（60%）、作品・発表（20%）、実技（ %）、授業態度【討議での積極性】（20%）							
教科書	指定しません。授業毎に授業資料を配布します。							
参考文献	『現代図書館情報学シリーズ8 改訂 図書館情報資源概論』（岸田和明編著、樹村房、2020） 『ベーシック司書講座・図書館の基礎と展望8 図書館情報資源概論』（藤田岳久、学文社、2016）							
注意事項	グループワークを行わない授業では、授業内で小テストを行います。小テストの内容を復習してください。							

科目名	情報資源組織論		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	つちや みゆう 土屋 深優
ナバリンクコード	LIS3227		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	○対面○・遠隔・その他( )							
授業の内容	図書館において収集した資料を利用者に適切に提供するための組織化について、目録、分類法、書誌情報等の、歴史的展開、理論、基礎知識を解説します。目録、分類法、シソーラスに関してはグループワークを通して技術的学びを深めます。							
到達目標	1. 情報資源組織化の目的と意義を説明できる 2. 情報資源組織化の歴史的展開と理論を理解できる 3. 情報資源組織化の基礎知識・技術を理解できる							
学位授与方針	幼児教育学科( ) 地域保育学科( ) 文化表現学科(2. 3. 4)							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション 情報資源組織化の目的と意義	予習	シラバスの内容をよく読んでおく			
				復習	本授業の内容を理解する			
	第2回	内容	書誌コントロールと標準化	予習	書誌コントロールとは何か調べる			
				復習	書誌コントロールの必要性について理解する			
	第3回	内容	目録の歴史・役割・種類	予習	目録とは何か調べる			
				復習	目録の歴史と役割について確認する			
	第4回	内容	日本目録規則の歴史と展開	予習	日本目録規則について調べる			
				復習	日本目録規則の歴史と役割について確認する			
	第5回	内容	オンライン閲覧目録(OPAC)(グループワーク・発表)	予習	実際にOPACを利用しておく			
				復習	OPACの管理についてグループワークの結果をレポートにまとめる			
	第6回	内容	主題分析と分類法の概要	予習	分類法の種類について調べる			
				復習	分類法の種類と違いについて理解する			
	第7回	内容	日本十進分類法(NDL)(グループワーク・発表)	予習	日本十進分類法について調べる			
				復習	日本十進分類法についてレポートを書く			
	第8回	内容	書誌情報の作成(MARC)	予習	MARCの歴史について調べる			
				復習	MARCの歴史的展開について理解する			
	第9回	内容	書誌情報の流通(書誌ユーティリティ)	予習	NACSIS-CATとCiNiiについて調べる			
				復習	日本の書誌ユーティリティについて理解する			
	第10回	内容	語による主題組織法(シソーラス)(グループワーク・発表)	予習	代表的なシソーラスについて調べる			
				復習	シソーラスについてグループワークの結果をレポートにまとめる			
	第11回	内容	語による主題組織法(件名標目表)	予習	代表的な件名標目表について調べる			
				復習	件名標目表の内容について理解する			
	第12回	内容	ネットワーク情報資源の組織化	予習	ネットワーク情報資源の種類について調べる			
				復習	ネットワーク情報資源の組織化について必要性和問題点を理解する			
	第13回	内容	メタデータの種類と標準化	予習	メタデータとは何か調べる			
				復習	ダブリン・コアとRDFについて確認する			
	第14回	内容	多様な情報資源の組織化(グループワーク・発表)	予習	館種別の情報資源組織化について調べる			
				復習	多様な情報資源の組織化についてグループワークの結果をレポートにまとめる			
	第15回	内容	情報資源組織化の展望	予習	ウェブアーカイブの組織化について調べる			
				復習	情報資源組織化の展望について理解する			
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
課題へのフィードバック	課題に対してコメントを返却します。また、グループワーク時にも適宜コメントをします。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施( )する/ (○)しない 成績評価の方法：筆記試験( )%、レポート・課題(60%)、作品・発表(20%)、実技( )%、授業態度【討議での積極性】(20%)							
教科書	指定しません。授業毎に授業資料を配布します。							
参考文献	『現代図書館情報学シリーズ9 改訂 情報資源組織論』(田窪直規編著、樹村房、2016) 『ベーシック司書講座・図書館の基礎と展望3 情報資源組織論 第2版』(榎本裕希子・石井大輔・名城邦孝編、学文社、2019)							
注意事項	グループワークを行わない授業では、授業内で小テストを行います。小テストの内容を復習してください。							

科目名	情報資源組織演習		単位数	2	授業時間数	60	担当教員	こやま もりえ 小山 守恵
カンパリクコード	LIS3232		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他( )							
授業の内容	「情報資源組織論」で学んだ理論や知識を基にして、多様な情報資源に関する書誌データの作成を行う。 書誌記述、主題分析、統制語彙の適用等の演習を通して、目録作成の実践的な能力を習得する。							
到達目標	1. 演習を通して書誌情報の内容と意義を説明できる。 2. 『日本目録規則 2018年版』に基づいて書誌データを作成することができる。 3. 『日本十進分類法 新訂10版』を使用して分類記号を付与することができる。 4. 『基本件名標目表 第4版』を使用して件名標目表を付与することができる。							
学位授与方針	幼児教育学科( ) 地域保育学科(文1, 2, 3, 4に相当) 文化表現学科(1, 2, 3)							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス 図書館業務と情報資源組織	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	第1回の講義内容をまとめる			
	第2回	内容	目録法(演習)	予習	「目録法」について教科書の該当箇所を予読しておく			
				復習	演習の内容をレポートにまとめる			
	第3回	内容	NCR2018の構成(演習)	予習	「NCR2018」について教科書の該当箇所を予読しておく			
				復習	演習の内容をレポートにまとめる			
	第4回	内容	目録作業の実際：図書 データ例(演習)	予習	「目録作業」について教科書の該当箇所を予読しておく			
				復習	演習の内容をレポートにまとめる			
	第5回	内容	目録作業の実際：図書 属性総則(演習)	予習	「属性総則」について教科書の該当箇所を予読しておく			
				復習	演習の内容をレポートにまとめる			
	第6回	内容	目録作業の実際：図書 体现形の属性の記録(演習)	予習	「体现形の属性」について教科書の該当箇所を予読しておく			
				復習	演習の内容をレポートにまとめる			
	第7回	内容	目録作業の実際：図書 実体の属性の記録(演習)	予習	「実体の属性の記録」について教科書の該当箇所を予読しておく			
				復習	演習の内容をレポートにまとめる			
	第8回	内容	目録作業の実際：図書 アクセス・ポイント(演習)	予習	「アクセス・ポイント」について教科書の該当箇所を予読しておく			
				復習	演習の内容をレポートにまとめる			
	第9回	内容	目録作業の実際：図書 関連の記録(演習)	予習	「関連」について教科書の該当箇所を予読しておく			
				復習	演習の内容をレポートにまとめる			
	第10回	内容	目録作業の実際：図書以外(演習)	予習	「図書以外」について教科書の該当箇所を予読しておく			
				復習	演習の内容をレポートにまとめる			
	第11回	内容	書誌ユーティリティと目録作業：NACSIS-CAT MARC(演習)	予習	「NACSIS-CAT MARC」について教科書の該当箇所を予読しておく			
				復習	演習の内容をレポートにまとめる			
	第12回	内容	書誌ユーティリティと目録作業：NACSIS-CAT データ内容(演習)	予習	「NACSIS-CAT データ内容」について教科書の該当箇所を予読しておく			
				復習	演習の内容をレポートにまとめる			
	第13回	内容	書誌ユーティリティと目録作業：NACSIS-CA 登録(演習)	予習	「NACSIS-CA 登録」について教科書の該当箇所を予読しておく			
				復習	演習の内容をレポートにまとめる			
	第14回	内容	主題組織法：主題分析(演習)	予習	「主題組織法」について教科書の該当箇所を予読しておく			
				復習	演習の内容をレポートにまとめる			
	第15回	内容	分類作業の実際：NDC(演習)	予習	「NDC10版」について教科書の該当箇所を予読しておく			
				復習	演習の内容をレポートにまとめる			
	第16回	内容	分類作業の実際：NDC 分類規程(演習)	予習	「NDC 分類規程」について教科書とNDC10版の該当箇所を予読しておく			
				復習	演習の内容をレポートにまとめる			
	第17回	内容	分類作業の実際：NDC 補助表(演習)	予習	「NDC 補助表」について教科書とNDC10版の該当箇所を予読しておく			
				復習	演習の内容をレポートにまとめる			
	第18回	内容	分類作業の実際：NDC 各類別(0類総記、1類哲学)(演習)	予習	「0類総記、1類哲学」について教科書とNDC10版の該当箇所を予読しておく			
				復習	演習の内容をレポートにまとめる			

第19回	内容	分類作業の実際：NDC 各類別（2類歴史、3類社会科学） （演習）	予習	「2類歴史、3類社会科学」について教科書とNDC10版の該当箇所を予読しておく
			復習	演習の内容をレポートにまとめる
第20回	内容	分類作業の実際：NDC各類別（4類自然科学、5類技術・工学）（演習）	予習	「4類自然科学、5類技術・工学」について教科書とNDC10版の該当箇所を予読しておく
			復習	演習の内容をレポートにまとめる
第21回	内容	分類作業の実際：NDC各類別（6類産業、7類芸術） （演習）	予習	「6類産業、7類芸術」について教科書とNDC10版の該当箇所を予読しておく
			復習	演習の内容をレポートにまとめる
第22回	内容	分類作業の実際：NDC各類別（8類言語、9類文学） （演習）	予習	「8類言語、9類文学」について教科書とNDC10版の該当箇所を予読しておく
			復習	演習の内容をレポートにまとめる
第23回	内容	分類作業の実際：まとめ（演習）	予習	第15～22回までの「分類」に関する演習を確認しておく
			復習	演習の内容をレポートにまとめる
第24回	内容	件名作業の実際：BSH（演習）	予習	「BSH」について教科書の該当箇所を予読しておく
			復習	演習の内容をレポートにまとめる
第25回	内容	件名作業の実際：BSH 見方（演習）	予習	「BSH」について教科書の該当箇所を予読しておく
			復習	演習の内容をレポートにまとめる
第26回	内容	件名作業の実際：BSH 手順（演習）	予習	第24～25回までの「BSH」に関する演習を確認しておく
			復習	演習の内容をレポートにまとめる
第27回	内容	メタデータの実際：役割（演習）	予習	「メタデータ」について教科書の該当箇所を予読しておく
			復習	演習の内容をレポートにまとめる
第28回	内容	メタデータ作業の実際（演習）	予習	第27回の演習を確認しておく
			復習	演習の内容をレポートにまとめる
第29回	内容	索引・抄録作業（演習）	予習	「索引・抄録作業」について教科書の該当箇所を予読しておく
			復習	演習の内容をレポートにまとめる
第30回	内容	引用文献索引作業、まとめ（演習）	予習	「引用文系索引作業」について教科書の該当箇所を予読しておく
			復習	演習の内容をレポートにまとめる
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。				
課題へのフィードバック	演習課題にコメントを行い、課題発表時にもコメントを行う。			
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）％、レポート・課題（90％）、作品・発表（10％）、実技（ ）％、授業態度【 】（ ）％			
教科書	『書名』（著者名、出版社名） 『現代図書館情報学シリーズ 10：三訂 情報資源組織演習』 小西和信・田窪直規、樹村房、2021			
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 『日本目録規則2018年版』 日本図書館協会目録委員会、日本図書館協会：2019 『日本十進分類法 新訂10版(2巻セット)』 日本図書館協会分類委員会、日本図書館協会：2015 『基本件名標目表 第4版』 日本図書館協会件名標目委員会、日本図書館協会：1999			
注意事項	1. 授業は教科書を基に行う。 2. 情報資源組織の解説と演習を行い、演習問題の記録をレポートとして作成する。 3. 全体の流れにより多少の変更がある。			

科目名	図書館基礎特論		単位数	1	授業時間数	16	担当教員	こやま もりえ 小山 守恵
ナンバリングコード	LIS3233		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	情報社会における図書館、司書の役割や機能について、特に図書館情報資源に注目して理解を深める。							
到達目標	1. 情報社会における図書館の役割と機能について、さまざまな視点から理解し説明できる 2. 図書館の情報発信に関わる課題について説明できる							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（文2,3,4に相当）文化表現学科（2,3,4）							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス 図書館協力と蔵書構成	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	図書館協力の課題をまとめる			
	第2回	内容	図書館管理システム ①	予習	本校の図書館管理システムを理解しておく			
				復習	管理システムの特徴を整理する			
	第3回	内容	図書館管理システム ②	予習	本校の図書館管理システムを理解しておく			
				復習	管理システムの特徴を整理する			
	第4回	内容	図書館管理システム ③	予習	本校の図書館管理システムを理解しておく			
				復習	管理システムの特徴を整理する			
	第5回	内容	豆本の制作 ①	予習	豆本のテーマを考えておく			
				復習	テーマに合った工夫を考えておく			
	第6回	内容	豆本の制作 ②	予習	豆本のテーマを考えておく			
				復習	テーマに合った工夫を考えておく			
	第7回	内容	豆本の制作 ③	予習	豆本のテーマを考えておく			
				復習	図書館のサービスを再考する			
	第8回	内容	図書館の役割 図書館演習のまとめ	予習	図書館の在り方について理解しておく			
				復習	図書館の在り方を理解する			
第9回	内容		予習					
			復習					
第10回	内容		予習					
			復習					
第11回	内容		予習					
			復習					
第12回	内容		予習					
			復習					
第13回	内容		予習					
			復習					
第14回	内容		予習					
			復習					
第15回	内容		予習					
			復習					
	予習に要する学習時間：概ね 90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90分を目安とする。							
課題へのフィードバック	各回の課題に対して解説を行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ %）、レポート・課題（45%）、作品・発表（45%）、実技（ %）、授業態度【積極性】（10%）							
教科書	『書名』（著者名、出版社名） 関連資料を授業毎に用意する。							
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 授業時に提示する。							
注意事項	授業を通じて、他館連携の課題に積極的に取り組んで欲しい。							

科目名	図書館サービス特論		単位数	1	授業時間数	15	担当教員	こやま もりえ 小山 守恵
ナンバリングコード	LIS3228		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	○対面○・遠隔・その他( )							
授業の内容	図書館の諸問題について取り上げ、幅広く図書館サービスについて知識を深める。 図書館等の視察を行い、各種別図書館サービスの特性を学習する。							
到達目標	1. 各種図書館における情報サービスについて説明できる。 2. 各種図書館の評価ができる。 3. 効果的な読書案内の提案を身につけている。							
学位授与方針	幼児教育学科( ) 地域保育学科(文3, 4に相当) 文化表現学科(3, 4)							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス 図書館のサービス提供 ①外国の図書館	予習	シラバスを読んでおく	復習	この科目で習得すべき内容を理解する	
	第2回	内容	図書館のサービス提供 ②専門図書館	予習	図書館管理システムとは何かを考える	復習	図書館管理システムを理解する	
	第3回	内容	図書館のサービス提供 ③図書館の評価、視察事前学習	予習	図書館管理システムの違いを整理しておく	復習	図書館管理システムの特性を考える	
	第4回	内容	校外学習 図書館視察	予習	図書館の設置目的を考える	復習	図書館の特性を理解する	
	第5回	内容	校外学習 図書館視察	予習	図書館の設置目的を考える	復習	図書館の特性を理解する	
	第6回	内容	校外学習 図書館視察	予習	対象館を調べる	復習	対象館の特性をまとめる	
	第7回	内容	図書館サービスの現状 ①ポップ	予習	提案型サービスの在り方を考える	復習	効果的提案の在り方を考える	
	第8回	内容	図書館サービスの現状 ②ポップ	予習	ポップ作成手順を理解しておく	復習	ポップをまとめる	
	第9回	内容		予習		復習		
	第10回	内容		予習		復習		
	第11回	内容		予習		復習		
	第12回	内容		予習		復習		
	第13回	内容		予習		復習		
	第14回	内容		予習		復習		
	第15回	内容		予習		復習		
	予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
課題へのフィードバック	図書館評価の視点を、視察を通して理解を深め、各館の課題を考えさせ、発表させる。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施( )する/(○)しない 成績評価の方法：筆記試験( )%、レポート・課題(90%)、作品・発表( )%、実技( )%、授業態度【積極参加】(10%)							
教科書	『書名』(著者名、出版社名) 関連資料を授業時毎に用意する。							
参考文献	『書名』(著者名、出版社名) 授業時に提示する。							
注意事項	図書館等の視察を行い報告書を作成する。資格取得を目的とした講座の為、自主的に多くの図書館を視察して、図書館サービスの事例を調査することを望む。図書館視察は受け入れ館と日程調整を要するため、現在日程は未定。また、調整が取れない場合、授業内容の変更を行う。							

科目名	図書館情報資源特論		単位数	1	授業時間数	16	担当教員	のなか ひろふみ 野中 博史
ナンバリングコード	LIS3234		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	① 図書館司書として必要な基盤的な力を育むため「書評」を執筆する授業です。執筆する書評はNDCの2つの分野です。 ② 執筆したのち作品を「製本化」「ポスター化」します。 ③ 最後にビブリオバトルを開催し発表します。調査・執筆・発表にわたるアクティブラーニングの授業です。							
到達目標	1. 書物を読んで思考する力を育むことができる。 2. 書物を読んで多様な価値観に対する判断力を育むことができる。 3. 自ら考え判断して表現する力を育むことができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（2・3・4 ）							
授業計画	第1回	内容	書評の書き方の説明と書評の読書。	予習	特にありませんが、日頃読書に努めてください。			
				復習	書評の書き方について確認して下さい。			
	第2回	内容	書評作品（2作）の読書と書評の執筆。	予習	書評に書く本の選択をしてください。			
				復習	書評作品の推敲。			
	第3回	内容	書評作品（2作）の読書と書評の執筆。	予習	書評の執筆。			
				復習	書評作品の推敲。			
	第4回	内容	パソコンを使って書評作品の編集作業をします。	予習	書評の執筆。			
				復習	書評の執筆とデザインの作成。			
	第5回	内容	パソコンを使って書評作品の編集作業をします。	予習	書評の執筆とデザインの作成。			
				復習	編集デザインの確認。			
	第6回	内容	パソコンを使って書評作品の編集作業をします。	予習	書評の執筆とデザインの作成。			
				復習	編集デザインの確認。			
	第7回	内容	パソコンを使って雑誌を制作します。	予習	書評の執筆とデザインの作成。			
				復習	推敲。			
	第8回	内容	ビブリオバトルを開催します。	予習	ビブリオバトルの準備。			
				復習	振り返り。			
第9回	内容		予習					
			復習					
第10回	内容		予習					
			復習					
第11回	内容		予習					
			復習					
第12回	内容		予習					
			復習					
第13回	内容		予習					
			復習					
第14回	内容		予習					
			復習					
第15回	内容		予習					
			復習					
予習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。								
課題へのフィードバック	授業中に学生とのやり取りを通じて随時フィードバックしていきます。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ %）、レポート・課題（ %）、作品・発表（90%）、実技（ %）、授業態度【調査等】（10%）							
教科書	『書名』（著者名、出版社名）とくにありません。							
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 読書に努めて下さい。							
注意事項	新聞などの書評欄をよく読んで下さい。課題はオンデマンド形式で随時提示する場合があります（アクティブラーニング）。課題の評価配点が高いので注意してください。学習するうえでの障害がありましたら事前に伝えてください。							

科目名	図書・図書館史		単位数	1	授業時間数	16	担当教員	のなか ひろふみ 野中 博史
ナンバリングコード	LIS3235		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	図書館司書として不可欠の図書と図書館の歴史に関する知識の修得及び図書及び図書館に関する課題を発見する力を育む授業とする。課題発見のための調査を含むアクティブラーニングの授業とします。							
到達目標	1. 世界の図書館の歴史について理解し、説明できる。 2. 世界の記録メディアの歴史について理解し、説明できる。 3. 図書館と民主主義との関係について理解し、説明できる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（2・3・4）							
授業計画	第1回	内容	授業の内容と授業方法、予習・復習の方法、授業の仕方について説明	予習	特に必要ありません。			
				復習	説明内容についてよく理解しておくこと。			
	第2回	内容	紙と紙以前の記録メディア	予習	記録メディアとは何かについて調べておくこと。			
				復習	記録メディアと記録方法について確認すること。			
	第3回	内容	印刷機の発明と大量印刷時代	予習	大量印刷の歴史について調べておくこと。			
				復習	ルネサンスと印刷文化について確認すること。			
	第4回	内容	雑誌・新聞の歴史	予習	雑誌や新聞の歴史を調べておくこと。			
				復習	新聞、雑誌の果たした意義について確認すること。			
	第5回	内容	マスメディアとメディアの多様化	予習	マスメディアの種類について調べておくこと。			
				復習	マスメディアの多様化と社会について確認すること。			
	第6回	内容	古代・中世・近世の図書館（世界）	予習	世界の図書館の歴史について調べておくこと。			
				復習	歴史と図書館の役割・意義について確認すること。			
	第7回	内容	公共図書館の歴史（世界）	予習	公共図書館の意義について調べておくこと。			
				復習	公共図書館と民主主義の関係を確認すること。			
	第8回	内容	戦後民主主義と図書館（日本）	予習	日本の民主主義の歴史について調べておくこと。			
				復習	民主主義下における図書館の意義について確認すること。			
第9回	内容		予習					
			復習					
第10回	内容		予習					
			復習					
第11回	内容		予習					
			復習					
第12回	内容		予習					
			復習					
第13回	内容		予習					
			復習					
第14回	内容		予習					
			復習					
第15回	内容		予習					
			復習					
	予習に要する学習時間：概ね60を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。							
課題へのフィードバック	適宜、学習成果に関して確認の時間を取ります。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ %）、レポート・課題（90%）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度【課題への対応等】（10%）							
教科書	『書名』（著者名、出版社名）特に指定しません。							
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 『図書・図書館史』（小黒浩司編、日本図書館協会）を推奨します。							
注意事項	8回の授業の中で適宜、課題を与えますので調査（アクティブラーニング）・提出して頂きます。教材は1週間前に配布しますので予習してください。							